

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
58	2007/01/30	60855	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	有			
59	2007/01/30	60856	大塚製薬	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ブタ由来酵素(センダイウイルスのポリペプトン)	ブタ臓腑	日本	製造工程	無	無	有			
60	2007/02/02	60857	アステラス製薬	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞		製造工程	無	無	無			
61	2007/02/02	60858	アステラス製薬	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20060623.1741	2006年6月22日にオランダ保健当局は、オランダで2例目の狂牛病患者を確定したと発表した。この患者は汚染した肉製品を食べたために感染したと思われるが、詳細は明らかにされていない。1例目は2005年にvCJDで死亡した26歳の女性である。
												炭疽	ProMED-mail20061109.3216	ロシアのNorth Ossetia-Alaniaで炭疽により、ヒト2名が死亡した。感染源を調査中である。1名は肉の販売に従事していた。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20061205.3431	米国で3例目のvCJD症例が確定された。サウジアラビアで生まれ育った若年成人で、2005年後半から米国に住んでいる。2006年11月下旬にアデノイドおよび脳生検により確定診断された。この患者に輸血歴やヨーロッパ訪問歴はなく、子供の頃にサウジアラビアでBSE感染牛製品を摂取したことが原因と思われる。この患者に供血歴はなく、公衆衛生的調査により、米国住民への伝播の危険はないと同定された。
62	2007/02/02	60859	アステラス製薬	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20060623.1741	60858に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												炭疽	ProMED- mail20061109.3216	60858に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20061205.3431	60858に同じ
63	2007/02/02	60860	アステラス 製薬	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	インスリン	ウシ膵臓	オーストラリア、カナダ、 ニュージー ランド、米国	製造工程	有	無	無	異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20060823.1741	60858に同じ
												炭疽	ProMED- mail20061109.3216	60858に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20061205.3431	60858に同じ
64	2007/02/07	60861	大日本住 友製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチ ン硫酸ナトリ ウム	ウシの軟骨 (気管)	米国、メキ シコ	添加物	無	無	無			
65	2007/02/07	60862	あすか製 薬	日局カリジノゲナーゼ	カリジノゲ ナーゼ	ブタ降臓	中国	有効成分	無	無	無			
66	2007/02/07	60863	あすか製 薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺 刺激ホルモ ン	ヒト尿	中国、ブラ ジル	有効成分	無	無	無			
67	2007/02/07	60864	日本ケミカ ルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アル ブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無	HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダの Kampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイ ルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について 追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽 性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバー ジョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血 を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有 意に高かった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロストリジウム感染	第55回日本感染症学会東日本地方会 総会 2006年10月 26-27日 016	胸部打撲後、心肺停止、混合性アシドーシス、胸部筋組織の破壊像を伴う著明な気腫などを呈し、死亡した58歳男性の、死亡直前に採取された皮下気腫穿刺液を調べたところ、多数の偏性嫌気性有芽胞グラム陽性桿菌が検出された。RNA遺伝子解析の結果、Clostridium chauvoeiと同定された。本菌は複数の同定キットでは明らかにできなかった。本菌は獣医学領域の病原菌として知られているが、ヒト感染症からの分離は初めてである。
68	2007/02/07	60865	興和創薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			
69	2007/02/08	60866	大日本住友製薬	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
70	2007/02/09	60867	アボット・ジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	無	無	無			
71	2007/02/14	60868	興和	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児の肺に由来する正常二倍体線維芽細胞	米国	有効成分	無	無	無			
72	2007/02/14	60869	興和	チソキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血清	日本	添加物	無	無	無			
73	2007/02/14	60870	興和	チソキナーゼ	ウシの血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
74	2007/02/14	60871	興和	チソキナーゼ	ペプトン	ブタの胃	米国	製造工程	無	無	無			
75	2007/02/14	60872	興和	チソキナーゼ	抗チソキナーゼモノクローナル抗体	マウスミエロマ細胞及びマウス抗チソキナーゼ抗体産生脾臓細胞から作製したハイブリドーマ	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
76	2007/02/14	60873	第一ラジ オアイソ トープ研究 所	ヨウ化人血清アルブミン(131I)	ヨウ化人血 清アルブミン (131I)	ヒト血液	日本	有効成分	無	無	無			
77	2007/02/15	60874	中外製薬	エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清ア ルブミン (BSA)	ウシ血液	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	FDAはBSEセーフガードとして医薬品や医療機器で、特定のウシ原料を禁止することを提案した。禁止される原料は、30月齢以上のウシの脳、頭蓋骨、眼および脊髄、全てのウシの扁桃腺および小腸の一部、ヘタリウシの全ての部位、検査を合格していないウシの全ての部位などである。
												BSE	ProMED- mail20061227.3621	カナダAlbertaで2006年8月9日に肉用牝牛が短期間の神経学的疾患の後、死亡したが、8月24日にBSEと確定診断された。カナダにおける8例目のBSE牛である。このウシは8から10歳と推定された。出生に関する追跡調査が行われたが、特定することはできなかった。
												リケッチア症	ProMED- mail20061130.3391	アイオワ大学感染症科は最近8ヶ月で8例のQ熱患者を診察した。州保健局は2006年だけで他に11例を報告している。過去3年間で4例であったことに比べると、発生率もしくは報告数が有意に増加している。アイオワ南東部またはイリノイ北西部に住んでいる8例の内2例はウシ、ヤギまたはウマとの明らかな接触歴があり、4例は動物との希薄な接触歴があった。
78	2007/02/15	60875	中外製薬	エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリ ン(遺伝子組 換え)	ブタ膵臓	米国、カナ ダ、デン マーク、英 国、ドイツ、 オランダ、ポ ルトガル、ベ ルギー、フラ ンス、アイル ランド、スペ イン、ハンガ リー、韓国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
79	2007/02/15	60876	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	Bacto Todd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、脾臓、胃	ウシ:米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ:米国、イタリア、カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60874に同じ
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	60874に同じ
												リケッチア症	ProMED-mail20061130.3391	60874に同じ
80	2007/02/15	60877	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60874に同じ
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	60874に同じ
												リケッチア症	ProMED-mail20061130.3391	60874に同じ
81	2007/02/15	60878	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ベプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60874に同じ
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	60874に同じ
												リケッチア症	ProMED-mail20061130.3391	60874に同じ
82	2007/02/15	60879	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用		有効成分	無	無	無			
83	2007/02/15	60880	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60874に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	60874に同じ
												リケッチア症	ProMED-mail20061130.3391	60874に同じ
84	2007/02/15	60881	旭化成ファーマ	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児肺細胞	米国	有効成分	無	無	無			
85	2007/02/15	60882	三共エール薬品	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻止剤	豚小腸	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
86	2007/02/16	60883	デンカ生研	発疹チラスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	マラリア	第66回日本寄生虫学会東日本支部大会 2006年10月21日	Plasmodium gallinaceumによる鶏マラリア侵入時の国内伝播の可能性を調べるため、日本産蚊のP. gallinaceum媒介性について検討した。蚊に感染血液を吸血させ、経時的にスポロゾイト(sp)形成を観察し、鶏ヒナへの伝播試験を行った。アカイエカではsp形成は見られなかったが、ヒトスジシマカとオオクロヤブカではspが形成され、これらのsp接種および感染ヒトスジシマカの吸血による鶏ヒナへの感染が確認された。鶏マラリアの検疫強化、発生時対応策の構築が必要である。
87	2007/02/19	60884	日本生物製剤	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	有	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	血液製剤調査機構 2006年8月24日	厚生労働省は23日の薬事・食品衛生審議会・血液事業部会安全技術調査会でヒト胎盤(プラセンタ)由来製剤(注射薬)を使用したことのある人からの献血を、無期限で制限することにした。今回の決定は、英国滞在歴のある日本人で変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)が確認されたことを受け、英国滞在歴のある人のヒト胎盤が感染源となるリスクを考慮したものである。
												B型肝炎	読売新聞 2006年9月30日	B型肝炎の病原ウイルス(HBV)は、これまで知られていた単純な粒子状ではなく、細長い“尾”が1~2本付いた形をしていることが、三重大と東京理科大、東京都臨床医学総合研究所の研究で明らかになった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用指針	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guardian 2006年7月12日	vCJD患者に多硫酸ペントサリウム(PPS)を毎月、頭蓋内投与することで、全ての年齢層の患者で延命効果が見られた。この治療は脳組織の破壊を遅らせる。グラスゴー大学のIan Bone医師は「PPS治療を受けた患者は並外れて長期間生存しているようだが、治療を受けていない患者との直接比較が不可能なため、有効であるとは結論付けることはできない」と述べている。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	血液製剤調査機構 Today's News 2006年10月	ProMetic Life Sciences社と米国赤十字社との合併会社であるPathogen Removal and Diagnostic Technologies(PRDT)社は、同社のプリオン捕捉フィルターP-Captが欧州規制当局の認可(CEマーク)を取得したと製造販売パートナーのマコファーマ社と共同で公表した。P-Captには、PRDT社が特許を取得しているプリオン結合親和性樹脂が組み込まれており、当面は赤血球濃厚液中の伝達性海綿状脳症(TSE)病原体の除去に使用される。
												C型肝炎	血液製剤調査機構 Today's News 海外編 2007年1月	ワシントン大学の研究者が、初代肝細胞と患者血清を使用したC型肝炎ウイルス(HCV)の培養法を報告した。この培養法では、少なくとも2ヶ月間、ウイルスを産生し続けることが可能であり、産生されたウイルスは肝細胞に感染したと報告している。これまで、いくつかのHCV培養法が報告されているが、長期にわたりウイルスを産生できる方法はなかった。この研究はAm J Pathol 2007年170号に掲載されている。
												HIV	CDC/MMWR 2006; 55(29); 793-796	2004年12月、多剤耐性(MDR)、dual-tropic HIV-1株による感染が、抗レトロウイルス療法歴のないNew York City (NYC)の46歳男性で初めて診断された。この症例の接触者の公衆衛生調査、およびこのHIV株の有病率を推定するためNYC地域におけるHIV感染患者のウイルス遺伝子配列調査を行った。その結果、同様のリスク因子を有する3例の患者が特定され、これら3例は遺伝子タイピングにより同じHIV株に感染していたことが明らかになった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	古典的CJDの潜伏期間は38.5年であり、vCJDの潜伏期間も非常に長いことが示唆されている。また、未確認ではあるが恐らくかなりの数の血液ドナーが、欧州におけるBSE激増中にフランスで感染した可能性がある。これらのことから、FDAは1980年以降フランスで血液又は血液成分の輸血を受けた者からの供血を無期限に停止するという予防策の導入をガイダンス案として発表した。
												BSE	Canadian Food Inspection Agency 2006年8月24日	カナダ食品検査局調査官は、2006年7月13日にBSEと診断されたAlbertaの50月齢の乳牛に関する疫学的調査を終了した。このウシはカナダで7頭目のBSE牛である。問題の牛のどの部分も、ヒトおよび動物の食物システムには含まれていない。
												BSE	ProMED-mail20060904.2519	最近、ドイツにおいて新しいvCJDの起源に関係する論文が発表された。フランス(H型)およびイタリア(L型またはBASE)で確認された2つの異なる異型BSE表現型に似た異型ドイツBSEが高齢のウシ2頭で明らかになった。両方のドイツ異型BSE例について、ウシPrP <sup>Sc</sup> を過剰発現するトランスジェニックマウスへ感染させることに成功した。L型感染マウスは、古典的BSE感染マウスよりも短い潜伏期間の後BSEを発症し、一方、H型では潜伏期間は非常に長かった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20060904.2519	2006年8月30日、香港保健当局はvCJD疑い症例が評価中であると発表した。患者は英国生まれの23歳男性で、2006年4月初めに香港に戻ってきた。vCJD様症状を示しており、扁桃組織が英国へ送られ検査されたが、陰性であった。今までのところ、vCJDと確定していない。



ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												感染	FDA News; P06-129, 2006年9月13日	米FDAは、組織の回収に関する安全性要件の重大な違反が最近2件確認され、業務を停止させたことに続き、製造業者に対するガイダンスを発行する。このガイダンスはヒト細胞または組織の回収・加工・保管・表示・包装・流通、ドナーのスクリーニングまたは検査のいずれかまたは全てに関する企業が法的責務を認識することを目的としている。CGTP(Current good tissue practices)は伝染病の導入、伝播、拡散を防ぐこと、製造中の汚染を防ぐことを製造業者に要求している。
												感染	FDA News; P06-116, 2006年8月18日	米FDAは、ドナースクリーニングおよび記録保持の管理を含めた製造業務における重大な欠陥を査察により確認し、ヒト組織再生会社Donor Referral ServicesおよびオーナーのP. Guyettiに対して、ヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品のすべての製造業務の即時停止およびこれらの留保を命令した。現時点でFDAは問題の組織による治療を受けた患者における有害反応発生の報告を受けていない。Donor Referral Servicesによりヒトドナーから再生された組織製品は全て回収された。
												感染	FDA News; P06-122, 2006年8月30日	米FDAは、ヒト細胞および組織の安全性に関する総合的専門調査会の設立を発表した。ヒト細胞および組織を規制するために、リスクに基づいた包括的システムを強化するための一環として、FDA Human Tissue Task Force (HTTF)が設立され、主な優先事項として、2005年に発効した組織に関する新たな規制の実施効果の評価が予定されている。一部の組織回収施設が、組織回収について連邦要件を満たしていないとの最近の報告について調査される予定である。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20061106.3190	PloS Pathogens 2(11)に、大規模なスクリーニングによって、従来とは異なるPrPresがウシにおいて発見され、感染性プリオンの新規の株であることが示された、とのVincent Beringueらの報告が掲載された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
88	2007/02/20	60885	日本製薬	①加熱人血漿たん白 ②人血清アルブミン ③乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン ④トロンビン ⑤乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ ⑥人免疫グロブリン ⑦乾燥人血液凝固第Ⅲ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	①～⑥製造工程 ⑦添加物・製造工程	無	無	無			
89	2007/02/20	60886	三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血漿	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
90	2007/02/20	60887	三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の膵臓	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
91	2007/02/21	60888	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	エルシニア感染	J Med Microbiol 2006; 55: 747-749	散発性エルシニア症の感染経路については、ブタと人との関連性は証明されていない。1995年から2003年にかけて、フィンランドとドイツで下痢のヒト282名の便およびブタ534頭の糞などから得た検体から単離された合計816株のY. enterocolitica 4/O:3を、制限酵素を使ったPFGEで関連性を検討した。その結果、両国共、ヒト由来株のほとんどはブタ由来株と区別ができず、一方、遺伝子型の大部分(182例中178例)は両国で異なっていた。ブタがヒトエルシニア症の重要な起源であることが示唆された。
												ブドウ球菌感染	Ned Tijdschr Geneesk 2006; 150: 1710-1712	最近、オランダで養豚業者がしばしばMRSAを保有することが報告されている。これらのMRSA株はブタでみられるMRSA株と関係がある。ケースコントロール試験の結果、ウシ飼育業者もMRSAキャリアである危険性が明らかとなった。養豚業者が入院する場合は、MRSA陰性と分かるまで、隔離するように勧告する。
												旋毛虫症	Vet Parasitol 2006; 140: 177-180	イタリアの地中海諸島Sardiniaで、初めて旋毛虫症が発生した。アウトブレイクは2005年に2つの村で起こり、同じブタから作った生のソーセージを食べたヒト11名が感染した。11名全員が旋毛虫症の症状を示し、摂食後48日以内に抗体陽転した。病原体はTrichinella britoviであった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 精査	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	ProMED-mail20070108.0077	アイオワ州東部でブタインフルエンザ陽性患者1例が確定された。州当局は警戒の必要はないとしている。患者は入院せずに回復した。ヒトからヒトへの感染の証拠はなかった。このウイルスはヒトに感染しにくく、ヒトはかなり抵抗性を持っている。
92	2007/02/21	60889	ベネシス	人血清アルブミン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人ハプトグロビン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
93	2007/02/21	60890	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2006; 313: 92-94	TSEの前兆期に、スクレイピーに感染させたハムスターの血液中のPrPScをPMCA (protein misfolding cyclic amplification)法を用いて生化学的に検出した。潜伏期間の初期には、おそらく血液中に検出されたPrPScは末梢でのプリオンの複製に由来していると思われる。感染しているが発症していない動物の血液中のプリオンを生化学的に検出することができるということは、TSEの非侵襲的早期診断を期待させる。
												バルボウイルス	Thromb Haemost 2004; 92: 838-845	今まで、凝固因子製剤のバルボウイルスB19遺伝子型2による汚染は報告されていないので、市販されている21製剤の202ロットを、バルボウイルスB19遺伝子型1と遺伝子型2のDNAについてPCRにより調べた。遺伝子型1のDNAが、現在投与されているロットの77/181(42.5%)に、1980年代初めまで使用されたロットの17/21(81%)に検出された。遺伝子型2のDNAは、5/202(2.5%)に見出され、その全てが遺伝子型1のDNAに汚染されていた。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	古典的CJDの潜伏期間は38.5年であり、vCJDの潜伏期間も非常に長いことが示唆されている。また、未確認ではあるが恐らくかなりの数の血液ドナーが、欧州におけるBSE激増中にフランスで感染した可能性がある。これらのことから、FDAは1980年以降フランスで血液又は血液成分の輸血を受けた者からの供血を無期限に停止するという予防策の導入をガイダンス案として発表した。